

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者等の評価結果について（平成30年度中間）

1 支援の内容及び効果等（1）

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の提案内容等
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の提案内容等
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の提案内容等
- (4) 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の提案内容等

評価	左記の理由
A	・子育て世代への新たなアプローチや多文化共生事業の実施など、区や地域の課題を的確にとらえ、それらに応じた事業実施支援ができています。また、地活協の認知度向上に向けて、動画の配信を行うなど、新たな取組みにもチャレンジしています。

2 支援の内容及び効果等（2）

評価項目

- (1) 自由提案による地域支援の提案内容等
- (2-1) スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる提案内容等
- (2-2) フォロー(バックアップ)体制等にかかる提案内容等
- (3) 区のマネジメントに対応した取組にかかる提案内容等

評価	左記の理由
A	・地域に近いまちづくりサポーターや専門知識をもつスーパーバイザーなど、多角的に支援をする体制が整っている。またそれぞれの連携もうまく働いており、今後に期待できる。

3 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）の状況及び効果等（5つ以内）

評価項目

区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）にかかる提案内容等

評価	左記の理由
A	・地域課題を認識、共有し、課題を解決していくために行動実践する、というサイクルを、地域が自主的に回していけるよう、引き続き区と協力して進めていってほしい。

4 総合評価【全体】

評価	左記の理由
A	・地域の実情や課題に即した支援を行っており、地域の信頼を得ている。支援内容に関しても目的と成果を意識した取り組みとなっており、動画発信のようなターゲットに応じた新しいツールを使うなど効果的なアプローチが出来ている。 また、支援体制に関しても、サポーターやスーパーバイザーを新

	たに加えるなど、課題解決に向けて多角的に対応ができるような人材配置により、地域に寄り添った支援をすることが出来ている。
--	---

(評価基準)

S：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。

A：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。

B：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。

C：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。